

あけましておめでとうございます。

2018年は、日比谷公園に東京市立日比谷図書館として開館した年から110年目にあたります。2009年に千代田区に移管されましたが、現在の建物になったのは1957(昭和32)年から。三角形の斬新なデザインは、当時の館長で歌人の土岐善麿により発案されました。建物内部の柱は六角形で統一され、天井や手すりなど細部に至るまで、三角形と六角形からなる意匠が凝らされています。ご来館の際、探してみてください。

日頃より図書フロアをご利用いただきありがとうございます。本年もより良いサービスの充実を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

こんな
こだわりが。



本にも
紹介されて
います



『東京モダン建築さんぽ』倉方俊輔 エクスナレッジ / 2017

Service News 【サービス・ニュース】

本の場所を移動しました

- 地名辞典:『角川日本地名大辞典』『日本歴史地名大系』
(2Fオレンジゾーン インターネット席・DB席付近) → (3Fグリーンゾーン)
- 著作権関連(分類番号:021.2)
(2Fオレンジゾーン) → (3Fグリーンゾーン)
- 大活字本
(3Fブルーゾーン奥) → (2Fオレンジゾーン インターネット席・DB席付近)

お探しの本が見つからない場合は、お近くのスタッフ、もしくは2F図書総合カウンターへお尋ねください。

1月の展示情報

- 2F パープルゾーン** 「東京を描く」(~1/12)
東京は、江戸以来の伝統的な文化の継承だけでなく、新しい文学の発信地としての役割も果たしてきました。今回は、東京出身の作家の作品や、東京を舞台とした作品を中心に、時代と共に変化する文学シーンの変遷をたどります。
- 3F ブルーゾーン** 「自己表現」(~4/13) **NEW!**
芸術をはじめとする様々な表現方法を知るための入門書を中心に、ビジネスなど他者とのコミュニケーションを図る場面で、自分の思いを伝えるときのヒントになる資料を紹介します。
- 3F グリーンゾーン** 「読書 再考・再興・最高」(~2/23)
図書館に来られる方に最近本を読んでいるかと聞くのも野暮ですが、デジタル機器の普及で紙の本を読む時間が減ったという方もいるでしょう。岐路に立つ読書について考え直すために、図書館の分類法を越えて様々な視点から本を並べてみました。

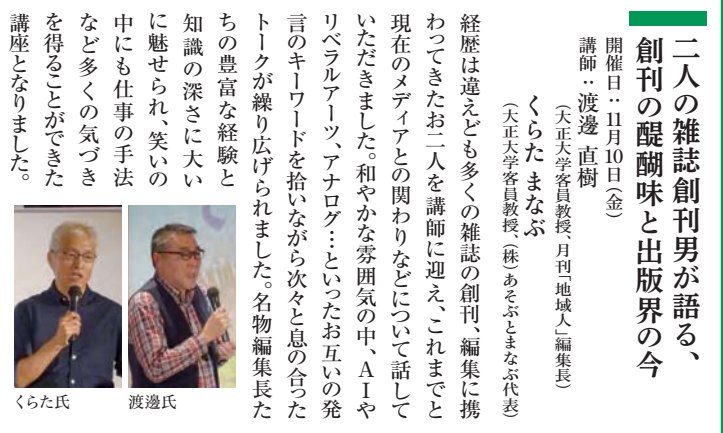
H I B I Y A C O L L E G E R E P O R T 日比谷カレッジ報告

二人の雑誌創刊男が語る、創刊の醍醐味と出版界の今
開催日:11月10日(金)
講師:渡邊直樹 (天正大学客員教授、月刊地域人編集長)
くらたまなぶ (天正大学客員教授、種あそぶとまなぶ代表)

経歴は違えども多くの雑誌の創刊、編集に携わってきたお二人を講師に迎え、これまでと現在のメディアとの関わりなどについて話していただきました。和やかな雰囲気の中、AIやリベラルアーツ、アナログ:といったお互いの発言のキーワードを拾いながら次々と息の合ったトークが繰り広げられました。名物編集長たちの豊富な経験と知識の深さに大いに魅せられ、笑いの中にも仕事の手法など多くの気づきを得ることができた講座となりました。

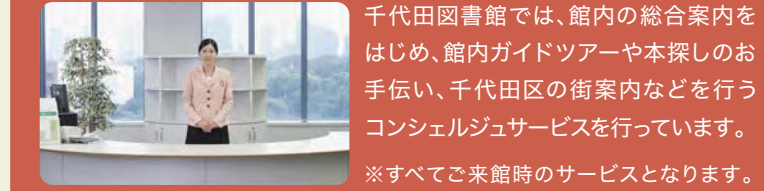
見える世界と見えない世界をつなぐ映画の音声ガイドが教えてくれること
開催日:11月24日(金)
講師:平塚千穂子(ハリウッド映画鑑賞推進団体 シティライツ代表、シネマテューキキバタ代表)
ゲスト:植村要(株)図書館総合研究所特別顧問)

実際に映画のいくつかのシーンを、音声のみ、音声ガイド付き、映像付きの3パターンで見比べながら、音声ガイドの役割や制作過程について話していただきました。二人のお話から音声ガイドづくりとは、非常にクリエイティブな作業だということが伝わってきたと同時に、音声で何を拾捨選択し伝えていくのかという情報の切り取り方の難しさについても深く考えさせられました。また、音声のみで映画を聴き、見えない世界を体験することで障害への理解を深めることができました。



From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

千代田図書館コンシェルジュ



千代田図書館では、館内の総合案内をはじめ、館内ガイドツアーや本探しのお手伝い、千代田区の街案内などを行うコンシェルジュサービスを行っています。 ※すべてご来館時のサービスとなります。

概要

- コンシェルジュサービス受付時間: 平日10:00~20:00(土曜日~19:00、日曜・祝日~17:00)
- 場所:千代田図書館9階 コンシェルジュブース

- サービス内容
- 総合案内**
図書館の利用方法のご案内や本探しのお手伝いをいたします。
 - 館内ガイドツアー**
館内を巡りながら図書館の見どころや利用方法などをご紹介します。
 - 書籍入手のお手伝い**
近隣の新书書店と古書店のご案内のほか、在庫状況を確認するなどして書籍購入のお手伝いをいたします。
 - 千代田区の街案内**
区の施設をはじめ、各種店舗やイベントなどのご案内を行います。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

【日比谷図書文化館特別展】文化庁新進芸術家海外研修制度の成果
DOMANI・明日展 PLUS X 日比谷図書文化館

本という樹、 図書館という森

Artists meet Books

本展覧会は、文化庁「新進芸術家研修制度」で海外に滞在した経験者6名とゲスト作家1名による「本・読書・図書館」へのアプローチを紹介する、初めての現代美術展です。ゲスト作家として藤本由紀夫を迎え、展示室の外一図書フロアでの展示も行なっています。絵画、インスタレーション、アニメーションといった様々なジャンルの

出展作家

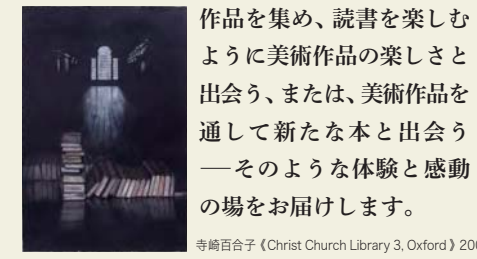
- 若林 奮** Isamu Wakabayashi (わかばやし いさむ 彫刻、ドローイング 1973年・パリ派遣)
- 小林 孝亘** Takanobu Kobayashi (こばやし たかのぶ 絵画 1996年・バンコク派遣)
- 寺崎 百合子** Yuriko Terazaki (てらざき ゆりこ ドローイング 1998年・オックスフォード派遣)
- 宮永 愛子** Aiko Miyanaga (みやなが あいこ 現代美術 2007年・エディンバラ派遣)
- 折笠 良** Ryo Orikasa (おりかさ りょう アニメーション 2015年・モントリオール派遣)
- 蓮沼 昌宏** Masahiro Hasunuma (はすぬま まさひろ 現代美術 2016年・フランクフルト派遣)
- ゲスト作家 **藤本 由紀夫** Yukio Fujimoto (ふじもと ゆきお 現代美術) ※図書フロアでの展示

見どころ

- 本展のために制作された新作、初公開の資料も含め、注目の作家による、「本」をテーマとした作品を紹介。
- 絵画、ドローイング、アニメーションなど、6名の作家による多彩な表現が楽しめます。
- ゲスト作家による図書フロアや書架を使った展示を企画。図書館との新しい出会いをお楽しみいただけます。

開催中 ~ 2018年2月18日(日)

- ※休館日:12月29日(金)~1月3日(水)、1月15日(月)
- 観覧時間:平日10:00~20:00、土曜10:00~19:00、日祝・12月28日(木)10:00~17:00(入室は閉室の30分前まで)
 - 会場:千代田区立日比谷図書文化館1階特別展示室 ● 観覧料:一般300円、大学・高校生200円 千代田区民・中学生以下、障害者手帳・指定難病受給者証をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。 ● 主催:文化庁、千代田区立日比谷図書文化館 ● 協力:アート・ベンチャー・オフィス・ショー



関連講座

書物/アートという装置、読書という体験

三人のアーティストが、今回の展示や制作に関する対話を通じて、情報伝達に変化する現代における「読書」を考えます。
〈出演〉藤本 由紀夫(現代美術家)、折笠 良(アニメーション作家)、蓮沼 昌宏(現代美術家)

- 日時:1月7日(日)14:00~15:30(13:30開場)
 - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員:180名(事前申込順、定員になり次第締切) ■ 参加費:無料
- 申し込み方法:来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp) いずれかにて①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

calendar 開館時間:平日10時~22時 ■土曜10時~19時 ■日祝10時~17時 ■休館日

2018年1月							2018年2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
											1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28			

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

2月の休館日のお知らせ

“東京マラソン2018”の開催に伴い、日比谷公園及び歩道を含む周辺道路が交通規制されるため、下記の通り2月の休館日を変更いたします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

- 休館日:2月25日(日)
- ※ 休館予定日の2月19日(第3月曜日)は全館開館します。

1・2月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

1/20 (土) **ピースビレッジ 第59回**
**地方と東京の2拠点生活で、
 あたらしい自分に出会う**
 講師：小久保 よしの(フリーランス編集者・ライター)
 地方と都会に拠点をもち、往復しながら暮らす「2拠点生活」。この数年、30代を中心に注目を集めている「移住」とは異なる「2拠点生活」という、ライフスタイルのメリットや心得などを、講師の体験を含めてお話しします。
 (主催：NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム、共催：日比谷図書文化館)
 ■日時：1月20日(土)14:00～16:30(13:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：3000円



1/24 (水) **これだけは知っておきたいインド経済**
インド経済の歩みを辿る：巨象の実像と虚像
 講師：佐藤 創(ジェトロ・アジア経済研究所地域研究センター主任研究員)
 経済成長著しく、人口も世界一となる見込みであるインドが、世界経済をけん引する時代が到来するのだろうか。貧困やカースト問題が持続する一方で、IT産業の展開や急速に普及する自動車や携帯電話による生活の変化、深刻化する環境やエネルギー問題など、本講座ではインド経済の複雑な現状を考察します。
 ■日時：1月24日(水)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：1000円



2/1 (木) **千代田区内ミュージアム連携 江戸歴史講座 第49回**
太田道灌と江戸
 ー国立公文書館平成29年度第4回企画展の内容を中心にー
 講師：小宮山 敏和(国立公文書館上席公文書専門官(調査研究・展示担当))
 江戸城を築いた武将である太田道灌は、扇谷上杉に仕え、1454年(享徳3年)から約30年続いた関東の大乱である享徳の乱で活躍するとともに、和歌にも優れた知勇兼備の武将とも言われています。本講演では、国立公文書館で開催する企画展の内容を中心に、関連資料を解説するとともに、展示の時代背景や太田道灌のエピソード、さらには、後年、彼の築いた江戸城を本拠とした徳川家康にも触れてみたいと思います。



長祿年中江戸図

■日時：2月1日(木)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名 ■参加費：500円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

2/3 (土) **HIBIYAイノベーション・キャンパス2017【ワークショップ実践編】**
**問題を捉え直し
 システム×デザイン思考でアイデアを考える**
 講師：鳥谷 真佐子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任講師、博士(医学))
 広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)
 イノベティブなソリューションを生み出すための効果的なアプローチは、問題をイノベティブな視点で捉え直すことです。今回はいくつかの手法を使って問題のイノベティブな捉え方を体感し、さらにアイデア創出の進め方を実践的に学ぶワークショップ【実践編】です。※初級編に参加されていることを前提としたワークショップとなります。
 (協力：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)
 ■日時：2月3日(土)13:00～17:00(12:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：40名 ■参加費：3000円



2/3 (土) **第3回 バリアフリー映画会**
『僕らのごはんは明日で待ってる』
 俳優の動作や表情を言葉で説明する「音声ガイド」と日本語字幕のついた、視覚や聴覚に障害のある方も高齢者もみんな一緒に楽しめるバリアフリー映画を上映します。上映作品は瀬尾まこ原作、市井昌秀監督の『僕らのごはんは明日で待ってる』(2017年)。※どなたでもご参加頂けます。(協力：住友商事)
 ■日時：2月3日(土)14:00～16:00(13:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名
 ■参加費：無料 ※手話通訳、車椅子スペースをご希望の方は、申込時にお申し出ください。



2/6 (火) **チョコレートから読み解く近代ヨーロッパ**
 講師：武田 尚子(早稲田大学人間科学学術院 教授)
 チョコレートは現代の私たちにとって身近な食品の一つですが、手頃な価格で食べることができるようになって、百年ほどしか経ちません。チョコレートをめぐる練り広げられた近代ヨーロッパにおける技術革新のプロセス、食や生活の変化、労働者の暮らしについて読み解きます。
 ■日時：2月6日(火)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：1000円



2/8 (木) **理研よこはまサイエンスカフェ**
細胞の運命を決める仕組み
 講師：渡邊 和秀(理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター 上級研究員)
 私たちのからだは、神経や心臓といった臓器を構成する多様な種類の細胞からなりますが、もとは、ただ一つの細胞である受精卵です。細胞はどんな仕組みで異なる運命を選択していくのか？細胞の運命を変える方法とは？その謎に迫る最新の研究を紹介します。(主催：国立研究開発法人理化学研究所、共催：日比谷図書文化館)
 ■日時：2月8日(木)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：40名
 ■参加費：1000円(千代田区民・学生500円)



2/9 (金) **霞ヶ関の煉瓦造庁舎建築と煉瓦のはなし**
 講師：長谷川 直司(国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部長)
 明治に竣工した霞ヶ関の煉瓦造庁舎建築。現在も残る法務省赤レンガ棟の紹介を中心に、日比谷公園も巻き込んで配置が計画された煉瓦造庁舎建築について、また、日本における煉瓦造建築の技術の導入経緯やその後の展開について解説します。
 (企画・協力：NPO法人 建築から社会に貢献する会)
 ■日時：2月9日(金)19:00～20:45(18:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)



2/11 (日) **ピースビレッジ第60回**
国連平和の鐘の物語
～父から託された世界平和の祈り～
 講師：高瀬 聖子(一般社団法人国連平和の鐘を守る会 代表)
 中川千代治という一人の日本人男性の切なる思いと行動から誕生したニューヨーク国連本部の日本の平和の鐘。「二度と戦争をしてはいけない」と訴え続けた父の遺志を受け活動を続ける、氏の6女である高瀬氏が若い世代に向けてその思いを伝えます。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム、共催：日比谷図書文化館)
 ■日時：2月11日(日)14:00～16:30(13:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：3000円



2/15 (木) **千代田区内ミュージアム連携 江戸歴史講座 第50回**
錦絵が語る幕末明治 ー展示資料を中心にー
 講師：岩間 一樹(衆議院憲政記念館「特別企画展示」企画担当)
 明治維新から150年となる2018年。憲政記念館で現在開催中の特別企画展示「幕末明治からのメッセージー激動の時代を彩った人々ー」(シリーズⅡ)において紹介している戊辰戦争から帝国議会開設までの錦絵とともに、時代背景をたどりながら、幕末明治期の政治や世相を俯瞰します。
 ■日時：2月15日(木)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：500円



2/16 (金) **古書で紐解く近現代史セミナー 第29回**
幕末日本の姿を今に残したオイレンブルク遠征隊
ーその外交目的と成果ー
 講師：福岡 万里子(国立歴史民俗博物館准教授)
 1850年代から1860年代にかけて日本にやってきた西洋の列強の遠征隊の中で誰もか真っ先に思い浮かべるペリー提督率いる遠征隊に比べて認知度は低いもの、お抱えの芸術家による優れた記録が今に伝わるオイレンブルク遠征隊。その外交面の目的や成果について考察します。
 ■日時：2月16日(金)19:00～21:00(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名
 ■参加費：1000円(千代田区民・学生500円)
 ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。
 オイレンブルク遠征隊メンバー
 (『プロイセン東アジア探検隊報告書』/グスタフ・シュベース著 / 1864年)



◆古文書塾てらこや1月期本講座開講◆

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んで頂ける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開講します。

	講座名	曜日・時間	講座実施日
特別講座 (3ヶ月) 90分 全5回	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火)13:30～	1/9
	大久保利通の手紙を読む	(火)19:00～	1/9
	浮世絵を読む【紅色クラス】	(水)10:30～	1/10
	浮世絵を読む【藍色クラス】	(水)10:30～	1/17
	江戸美人を探るー江戸のファッション事情	(水)13:30～	1/10
	商家文書を読みとくー三井越後屋の奉公人	(水)19:00～	1/10
	くずし字で読み解く茶の湯の伝書	(木)13:30～	1/11
	江戸を楽しむー続・江戸の寺社あれこれ	(木)18:30～	1/11
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30～	1/6

■期間：1月6日(土)～順次開講 ■会場：4階セミナールーム(会議室)
 ■定員：各23名(事前申込順) ■参加費：各13,650円(全5回/各回90分/3ヶ月分。別途資料代500円)※てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。
 ■お問い合わせ：電話 03-3502-3340

特 別 研 究 室 企 画 展 示

外国人が見た幕末日本

ーオイレンブルク遠征隊を中心にー

1月16日(火)▶▶3月31日(土)

2018年、明治維新150年の節目の年にあたり、内田嘉吉文庫に残されている、江戸時代の終焉に日本にやってきた絵師たちが描いた図録、挿絵を紹介いたします。プロイセンのオイレンブルク遠征隊の記録を中心に、外国人の絵師たちの目に映った幕末日本の姿をご覧ください。

江戸の大名屋敷
 (『プロイセン東アジア探検隊報告書』/プロイセン東アジア遠征隊編 / 1864年)



ポモータ広報室より

新年あけましておめでとうございます。

2018年は戌年ですね。干支は、古くは年・月・日・時刻・方位等を知るために使われていたもので日本だけでなくアジアを中心に広く知られています。また、干支の漢字そのものには動物の意味がなく、覚えやすいようにと身近な動物が当てられました。戌年は、犬はお産が軽いとされることから安産に良いとされていたり、社会性があり忠実なため、戌年生まれは勤勉で努力家などともいわれます。2018年、本だけではなくカレッジやミュージアムなど多彩な「知の拠点」である日比谷図書文化館を利用してワンランクアップしたワンダフル(wonderful)な1年をお過ごしください。

■長期休館(2018年3月)のお知らせ

◎休館日：
2018年3月4日(日)～3月13日(火)
 システムリプレイスのため2018年3月4日(日)～3月13日(火)まで千代田区立図書館は全館休館となります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

 ※ 休館中は貸出施設の予約・利用もできません。
 ※ 休館中の資料返却は、ブックポストをご利用ください。
 ※ 各種Webサービスもご利用になれません。